

# 榊原 知美

SAKAKIBARA, Tomomi



## 【共同研究】

国際教育センター共同研究プロジェクト「文化間移動をする子どもの発達・学習に関する心理学的研究—就学後の学力を支える多文化保育のあり方を探る」（座長 榊原知美）

本プロジェクトは、学習上の困難を経験しやすい多文化的背景をもつ子どもの発達や学習を促す文化的多様性を考慮した保育のあり方について、心理学および保育実践の視点から検討するものである。2020年度は、中華系の保育所・幼稚園の5歳児クラスおよび台湾の日系幼稚園において実施した保育活動の観察および保育者への面接データの分析をさらに進めるとともに、追加のデータ収集の必要性について検討した。

国際教育センター共同研究プロジェクト「異文化理解を促す『対話型』交流実践の理論的・実践的統合と教員研修への展開」（座長 榊原知美）（2021年度新規）

異文化理解や異文化コミュニケーションを促進するためには、そこで生じる葛藤への適切な対処が不可欠である。そのような対処の力を育成し、共生の可能性を文化的他者と共に探索していくことを促す試みとして、榊原を含む国際共同研究チームは、この10年の間、日本、中国、韓国の大学や高校の授業間を結ぶ対話型の授業実践の開発を進めてきた。本プロジェクトでは、これらの研究を通して蓄積された成果を理論的、実践的に統合し、教育現場でも利用な形で発信することを目指す。さらに、これらの成果を異文化に関わる現場で実践に取り組む教師のための研修の開発に結びつけることも目指す。

## 【科研費等の研究】

2018-2021年度 科研費 基盤研究 (C) 「文化的実践への参加を通しての数量発達と大人の支援：1歳から3歳までの縦断的研究」（研究代表 榊原知美）

幼児早期の1~3歳児が参加する文化的実践としての家庭および保育園での活動に注目し、幼児の数量概念の発達過程を大人の数量支援の構造との関係で縦断的に捉えることを目的とした研究である。本研究では特に、子どもが家庭や保育園での活動において自発的に行う数量行動の1歳から3歳までの間の発達の变化、それに対する保育者や保護者の支援とその変化、の2つの側面について検討している。

## 【研究業績】

### 1. 著書

榊原知美 (2020) 遊びを通して育まれる数量・図形の理解とその援助 幼児教育大全作成委員会 (編) 幼児教育大全 (pp. 285-288) 全国国公立幼稚園・こども園長会

榊原知美 (2019) 乳幼児期の学びの過程と特性I 認知的学び 村村伸一郎・山名裕子 (編) 保育の心理学 (pp. 145-156) 中央法規

榊原知美 (2018) 文化と発達 藤村宜之 (編著) 発達心理学一周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか (第2版) (pp. 214-233) ミネルヴァ書房

## 2. 論文

榊原知美 (2020) 子どもの数理解と文化 心理学ワールド, 88, 23-24  
渡辺忠温・榊原知美 (2019) 外国人児童生徒の指導者・支援者から見た子どもおよび保護者の抱える問題とその原因 国際教育評論, 15, 1-17  
黄 琬茜・山名裕子・榊原知美・和田香 (2018) 多文化保育における幼児のことは：5歳児のコードスイッチングに着目して, 保育学研究, 56(3), 174-185

榊原知美 (2018) 遊びを通して育まれる数量・図形の理解とその援助 幼児教育じほう, 46(7), 12-18

榊原知美 (2018) 保育がはぐくむ幼児の数量知識—幼小での連続性ある援助を目指して 初等教育資料, 965, 72-75

## 3. 学会発表等

Sakakibara, T., Yamana, Y., Wada, M., Huang, W.C., & Takagi, K. (2019.8). Preschool teachers' support for children in a multicultural context: Case study of Taiwanese preschools with Japanese Children. 19<sup>th</sup> European Conference on Developmental Psychology, Athens, Greece.

榊原 知美・片 成男 (2018.9) 日本と中国の大学間における対話的交流授業を通じた学生の異文化理解プロセス—学生による物語の作成と分析— 自主シンポジウム「対話的異文化理解授業実践のあり方を考える—国際理解教育とのコラボレーション」での話題提供 (企画者 渡辺忠温, 山本登志哉) 日本教育心理学会第60回総会, 慶應義塾大学

榊原知美 (2018.1) 数量知識の獲得の文化的文脈 日本発達心理学会認知発達理論分科会第54回例会でのショートレクチャー, 名古屋

## 4. その他

文部科学省 (著) 『幼稚園教育要領解説』 (フレーベル館) の作成協力 2018年3月

## 【主な学会活動】

- ・ 日本発達心理学会
- ・ 日本教育心理学会
- ・ 日本心理学会
- ・ 日本保育学会

## 【社会的活動】

- ・ 東京学芸大学国際教育センター主催 第13回国際教育センターフォーラム「異文化理解の方法としてのワークショップの可能性を考える」の企画・運営 2021年2月
- ・ 東京学芸大学国際教育センター主催 第9回多文化共生フォーラム「周縁から日本の学校文化を捉える—文化心理学者がみた日本の学校」の企画・運営 2020年2月
- ・ 大田区教育委員会幼児教育センター主催 平成31年度第5回幼稚園教諭・保育士合同研修会 講師「保育を通して育まれる数量・図形の理解とその援助」2019年12月
- ・ 令和元年度秦野市立北中学区幼小中一貫教育公開保育研究会 講師「子どもは数をどのように学ぶのか—幼小での連続性ある援助を目指して」2019年11月
- ・ 平成31年度免許状更新講習 講師 (必修講習) 「子どもの変化についての理解—子どもの発達に関する脳科学, 心理学等における最新の知見」 2019年8月

## 【教育活動】

- ・ 「異文化間心理学」「国際教育演習B」「国際教育特別研究」「入門セミナー」東京学芸大学教育学部
- ・ 「認知発達と学校教育」「ヒューマン・コンピテンシー各論 (発達)」「フィールド研究」「特別研究」東京学芸大学大学院教育学研究科
- ・ 「教育学特殊XV 発達と学習の文化心理学」慶應義塾大学文学部 (非常勤)
- ・ その他, 東京学芸大学の国際教育選修 (学部) および教育支援共同実践開発専攻教育AI研究プログラム (大学院) において卒論・修論指導を行った。